わがまち熊谷のできごと

リーグワン準優勝！埼玉パナソニックワイルドナイツ　感動をありがとう！

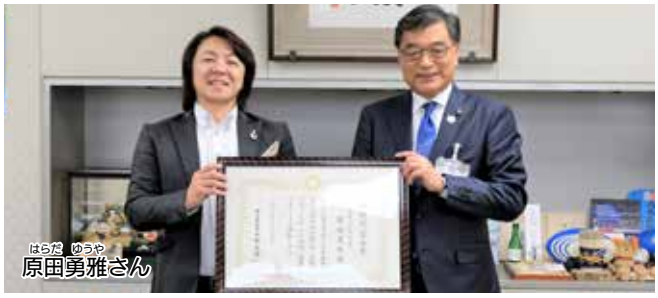
5月28日、久保田代表取締役、飯島ゼネラルマネージャー、木川スクマムコーチ、山沢拓也選手、山沢京平選手が市長を訪問しました。リーグ戦は全勝でしたが、プレーオフトーナメント決勝では接戦の末、惜しくも敗れ、準優勝という悔しい結果となりました。

環境のことを考えるきっかけに

5月18日、19日に開催された「くまがやエコライフフェア2024」では、環境問題に取り組む企業や団体の活動の展示、紹介がコミュニティひろばと八木橋百貨店で行われました。また、八木橋百貨店では、くまがや環境賞表彰式が行われたほか、熊谷市環境ポスター作品展も行われ、市内の小学生が描いた作品のうち優秀作品に選ばれた児童が表彰されました。

今シーズンもお疲れ様でした！

5月27日、ちふれASエルフェン埼玉の皆さんが、女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」の2023-24シーズン終了報告のため、市長を訪問しました。



「下總皖一音楽賞」受賞おめでとうございます！

4月30日、くまがや文化芸術応援大使の原田勇雅さんが、「下總皖一音楽賞」受賞の報告をするため、市長を訪問しました。

Instagram

道の駅めぬま

@kumagaya_city
今年も道の駅めぬまのバラ園には、
春バラが咲き誇りました！

#kumacitygram

インスタグラム

第14回

市長コラム

てっちゃんのひとりごと

このコーナーでは、小林哲也市長が日々感じている思いや出来事などを隔月連載でお伝えしています。

「選ばれる熊谷市を目指して」

コミュニティひろば

市長に就任してから2年9か月が経とうとしています。この間、公約として掲げた様々な公共施設の整備を進めてまいりました。その一つが、中心市街地にあり、40年もの間動きがなかった「北部地域振興交流拠点施設予定地」（現在はコミュニティひろば）ですが、市長就任後間もなく、「埼玉県5か年計画」に復活していただきました。これにより埼玉県は熊谷地方庁舎の建て替え、そして熊谷市は市役所の行政機能の移転をテーマとして、昨年9月に県と市で構成する連絡調整会議を設置し、今年2月からは、公募の市民を含む検討委員会で市役所の機能移転の検討も始まりました。

そのほか、石原の蚕業試験場跡地では、本市の子育ての拠点となる「（仮称）子育て支援・保健拠点施設」が令和8年の竣工を、また石原の勤労会館を「（仮称）第2中央生涯活動センター」として建て替え、令和9年の竣工を目指しています。このように公共事業というと「また箱もの」とネガティブな印象をお持ちになる方もいるかもしれませんが、現在、市内の行政施設の多くが昭和の時代に建設され、老朽化が進んでいます。持続可能な自治体を目指すためには、少子高齢化に対応する福祉環境の整備などももちろん必要ですが、併せて適切なタイミングで老朽化した施設を時代に合ったものへと更新し、市民の皆様に有効に使っていただかなくてはなりません。その事によって「選ばれる熊谷市」へ変えていきたいと思っています。

（仮称）子育て支援・保健拠点施設イメージ

読んで当てよう！ Q市報クイズ

今月の問題

次の○○に当てはまる言葉をお書きください。
熊谷の夏を盛り上げるうちわ祭は、毎年7月20日～22日までの3日間で行われる「○○○の祇園祭」です。

アンケート

Q1 今月号市報の感想をお書きください。
Q2 取り上げてほしい内容があればお書きください。

応募方法　ハガキまたは応募フォームに、住所・氏名・年齢・電話番号・今月の問題の回答・アンケートの回答を必ず明記し、7月31日（水）までにご応募ください。（1人につき1通）
※回答がないものは無効となります。
《応募先》〒360-8601 宮町2-47-1
熊谷市広報広聴課　市報クイズ係
※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

応募フォーム

5月号の正解

バンク

◆応募総数109通中　正解100通

今月のプレゼント

「こちとき」から『牛乳ソフトクリーム&手作りヨーグルトのセット』を10人にご提供します！

プレゼント例

お店の方からひとこと
カウンター販売の小さなお店です。
お気軽にどうぞ♪

担当者からひとこと
看板商品の牛乳ソフトクリームは、濃厚かつ後味は爽やかで、一度食べたらクセになります！散歩中にふらっと立ち寄れるテラス席♪暑い夏にぴったりの美味しいソフトクリームをぜひお召し上がりください！

店舗外観

[店舗情報]

こちとき
住　所：熊谷市上川上101-3
電　話：090-6044-8606
営業時間：13：00～17：00
営業日：木曜日～日曜日
（雨天時お休み）

インスタグラム
@kochitoki

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業などを募集しています。
詳しくは、広報広聴課TEL内線212までお問い合わせください。

情熱世代
夢追い人
Dream Followers

世界で活躍できる選手を目指して

花岡（はなおか） 恋緒奈（れおな）さん

2023年極真館空手道カザフスタン世界大会・
14-15Years Girls KATA優勝（熊谷東中学校３年）

いつしか夢中になっていた空手

空手を始めたのは6歳の時です。同じく空手をやっていた兄の姿を見て、かっこいいと思い、憧れから私も道場に通い始めました。始めたばかりの時は稽古がきつくて正直「いつ辞めようか」と思うくらい道場に行くのが嫌でした。

しかし、小学校2年生の時に初めて出た大会で入賞できたことで、もっと良い結果を残したい！この雰囲気を楽しみたい！という思いが強くなり、空手に夢中になっていきました。今では、道場での稽古のほかに、家でもトレーニングをしています。家でのトレーニングは毎日しないと落ち着かないほどです。(笑)

また、コロナ禍の時は道場に通うことができず、思うようにいかないことも多くありましたが、家でもできることをやろうと家族のサポートをもらいながら稽古をしてきました。

オールラウンドに活躍できるように

極真空手には「組手」と「型」、「棒の型」があり、私はどの種目でも結果を残せるように稽古に打ち込んでいます。「組手」では、自分より大きい相手とも対戦します。相手がいる分、試合前はいつも緊張します。一方で、「型」は、自分と向き合う種目で、自信を持って臨むように意識しています。

毎日、こつこつと稽古を積み重ねているので、それが自信に繋がり、より良い結果が出せていると思います。コロナ明け以降大会が再開され、中学2年生の全日本大会では念願の「組手」「型」「棒の型」の3部門で優勝することができました。

試合の様子（右）：組手（向かって右側が花岡さん）（左）：棒の型

夢だった世界チャンピオン

全日本大会で優勝したことで、世界大会への出場がきまり、一層稽古に励むようになりました。特に熊谷道場の石島（いしじま）師範には、大会前はほぼ毎日、夜遅くまでハードな稽古をつけていただきました。

世界大会の会場であるカザフスタンまで計10時間の移動だったため、コンディションを調整するのに苦労しました。

そして、今までの稽古を信じて試合に臨み、「型」で優勝、夢だった世界チャンピオンを掴み取ることができました。優勝が決まった時には、師範と一緒に涙を流して喜び合ったことを鮮明に覚えています。

今後の夢

私は周りと比べて小柄で体格面で劣りますが、練習量でカバーしてきました。

今後は、2025年に日本で行われる世界大会で優勝することを目標に、稽古を積んでいきます。

また、私と同じように小柄な選手の希望になれるように頑張りますので、応援してもらえるとうれしいです。

CHECK
くまがや市 公式SNS
X(Twitter) @kumagayacity
Instagram @kumagaya_city
LINE クマぷら kumagaya_city
YouTube 熊谷市公式チャンネル
知りたい情報きっと見つかる
SCAN QR CODE

人口と世帯

●令和6年6月1日現在（対前月比）
■人口　192,130人（+37）　男　96,411人（+36）　女　95,719人（+1）　■世帯　91,080（+111）

「市報くまがや」７月号は、73,600部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本に掛かる市の負担は、１部当たり24円です。

●発行日　令和6年7月1日
●編集　広報広聴課　〒360-8601　熊谷市宮町二丁目47番地1
TEL 048-524-1156（直通）
●発行　熊谷市
FAX 048-520-2870

「市報くまがや」は、毎月1日（原則）に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・各行政センター・さくらめいと出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。（URL）https://www.city.kumagaya.lg.jp/